

# 内閣官房副長官

## 衆議院議員 埼玉1区（浦和区・緑区・見沼区）

# 村井ひでき

### 通信

### CHALLENGE 日本の新しい力

### 第38号

http://www.muraihideki.com/  
TEL 048-711-3241  
FAX 048-711-3242



地元の衆議院議員 村井英樹です。昨年9月、内閣官房副長官の職を拝命しました。それから約10か月、能登半島地震への対応・北朝鮮によるミサイル発射への対応など、24時間体制で、仕事に当たって参りました。本号では、副長官としての日々の活動について、お伝えします。是非、ご一読ください。

## 内閣官房副長官として「全力疾走」しています。

村井

内閣官房副長官は、総理大臣に一番近い場所で、政権のかじ取りを補佐するポジションです。国政中枢で幅広い経験が得られますが、同時に「永田町で一番忙しい役職」とも言われます。私も、副長官就任後の10か月間、①朝一番の総理勉強会、②災害・ミサイルなどの緊急事態対応、③重要政策の企画・立案・チェック、④政府与党間の調整、⑤官房長官会見の代行、⑥総理の海外出張への同行など、体力の続く限り仕事に打ち込んでいます。

岸田政権発足から2年間は、総理補佐官として、総理官邸で勤務してきましたが、官房副長官として、より幅広い所掌と責任を与えて頂き、改めて国政運営を担うことの難しさを痛感する日々です。

岸田政権も、発足から1000日を超え、近年では、第二次安倍政権・小泉政権に次ぐ長さとなりましたが、この間、官邸勤務を継続する政治家は、岸田総理と私のみとなりました。言うまでもなく、総理大臣は、国政全般を預かり、誰にも任せることのできない、ギリギリの決断・判断を行い続ける本当に厳しい仕事です。その総理大臣を、日々高い緊張感を持ちながら、一番近くで支える仕事は、これ以上ない、やりがいのある職務です。

この得難い経験を、未来に向けて活かすことこそが、「地盤・看板・かばん」何もない私を国政へ送り出して頂いた、地元の皆さんへのご恩返しであるとの思いで、初心忘れず、全身全霊、難題山積の国政に挑んで参ります。



首相動静抜粋（読売新聞）

岸田首相の一日 4日  
【午前】5時21分、公邸で村井官房副長官。7時27分、官邸。報道各社のインタビュー。51分、知的財産戦略本部。8時14分、閣議。27分、犯罪被害者等施策推進会議。

岸田首相の一日 20日  
【午後】1時16分、公邸。2時、村井官房副長官。6時10分、村井氏出席。



【左】総理の国会答弁の準備のため、朝一番から、総理と打ち合わせ。また、休日の打ち合わせは、長時間に及ぶこともあります。

【右】地震や北朝鮮からのミサイル発射への対応のため、度々、総理官邸へ緊急参集しました。就寝時も、常に電話一本で飛び起きて、出発できるように準備しています。



【左】自分自身も、国会答弁を行います。副長官の所掌は、経済から外交まで幅広いため、予算委員会から外務委員会まで様々な場面で答弁を行います。

【右】米国訪問への出発時、政府専用機に乗り込む際の様子。（写真はテレ東 Biz より）

## 取組み①

## 物価高への対策を推進

ウクライナ侵略に伴うエネルギー価格高騰や円安を背景に、物価の高騰が続いています。私も、多くの皆様から、物価対策を最優先で進めて欲しいとの声を伺っております。このため、経済産業省や財務省と調整を進め、ガソリン価格を175円/Lよりも上がらないようにする対策を継続すると共に、電力代やガス料金の引下げ補助も行います。また、年後半に向けて、年金生活者の方など、物価高の影響が大きい方向けの思い切った経済対策を講じるべく、現在関係省庁と取り組みを進めています。



(写真は、清水さいたま市長から、地元の要望を伺う様子。)

## 取組み②

## 中小企業の賃上げを促進

物価高を乗り越えるためには、それを上回る所得上昇が継続する経済を創っていく必要があります。政権では、「賃上げ」を経済政策の中心に据えており、昨年の春闘では3%台半ば、今年の春闘では33年ぶりとなる5%超という力強い賃上げの流れが実現しつつあります。この流れを本格的なものとするためには、7割の方が働く中小企業の賃上げが不可欠です。そのため、私が議長を務める関係省庁会議で、全22分野に及ぶ業界ごとの「ガイドラインの策定遵守」などを通じて、大企業と中小企業間の取引適正化を徹底し、中小企業側が物価上昇分や賃上げ分を十分に取引先に転嫁できる仕組み創りを進めています。



(写真は、会議の場で、各省庁に指示を出す様子。)

## コラム：総理官邸と内閣官房副長官

我が国の行政府は、総理をトップとして、1府12省庁、約60万人の国家公務員で組織されています。その「司令塔」として、重要施策の最終的な意思決定を行う場所が、総理官邸です。

「官邸主導」という言葉にもある通り、近年その重要性がクローズアップされることも多いですが、意思決定に関わるのは、総理・官房長官・3人の副長官・最大5人の総理補佐官と、それを補佐する数十名の事務方だけの非常にスリムな組織です。

その中で、3名の官房副長官は、政務担当として衆議院・参議院から各1名、事務担当として霞が関から1名選ばれることが通例です。

また、政務担当の副長官は、国政運営の要諦を学ぶことができることから、若手・中堅議員の登竜門とされており、歴代副長官の中には、安倍晋三、海部俊樹、竹下登など多数の首相経験者がいます。



### 取組み③

## 最新の医薬品を患者さんへ届けるために

コロナ禍では、国産ワクチンが製造できず、海外産ワクチンの輸入に頼らざるを得ませんでした。また、希少疾患や小児疾患の患者に、国内で薬を届けられない、ドラッグラグなどの問題が発生しています。このため総理官邸に、「創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議」を設置。私が座長として検討を進め、バイオ医薬品の国内製造体制強化、採算性の乏しい難病・希少疾病医薬品の開発促進、海外で承認された新薬の規制見直しなど、最新の医薬品を患者さんへ届けるための取組を進めることとしました。



(写真は JNN ニュースより。)

### 取組み④

## 緊張感あふれる首脳外交をサポート

内政と並び、副長官の重要な仕事が、首脳外交の補佐です。総理の海外出張に同行し、首脳会談に同席します。この10 か月間で、日米、日中、日印など多数の首脳会談に同席し、バイデン大統領・習近平国家主席・モディ首相など、世界の指導者との緊張感あふれる外交現場で汗をかきました。また、4月の米国国賓待遇訪問時には、私自身、バイデン大統領・ハリス副大統領はじめ幅広く米国政府要人との信頼関係を深めることができました。

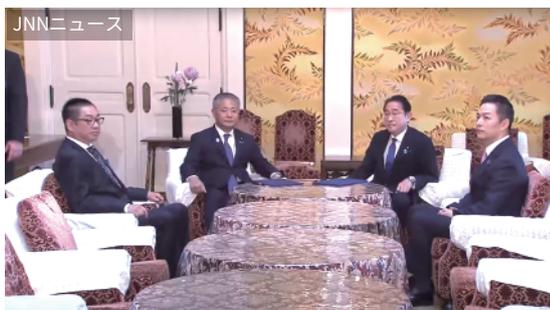


(写真は、公式晩さん会前にホワイトハウスでバイデン大統領と。)

### 取組み⑤

## 政治資金制度改革と信頼回復に向けて

昨年末から、自民党の政治資金の問題で、厳しいご批判を頂くと同時に、ご心配も頂いております。大変申し訳ありません。私自身は、引き続き、政治資金について適切・明朗な会計を継続するとともに、正々堂々と仕事に取り組んで参ります。また、二度と「政治とカネ」の問題が起きないための仕組み創りに向けて、「政治資金制度改革」や「党全体のガバナンス強化」に引き続き取組むことで、政治の信頼回復に努めて参ります。



(写真は、維新の馬場代表との党首会談に、同席した際のもの。JNN ニュースより。)

### 取組み⑥

## さいたままでの地元活動

役所を退職して、政治の世界に身を投じて、今年で13年目。お陰様で、国政の中核で、重要課題に取り組ませて頂く日々ですが、その原点は、何と言っても、地元の皆様から頂く、様々な声です。国政についてのご意見、地域の課題についてのご要望など、何なりとお伝えください。必ず迅速に対応させていただきます。

(電話番号：048-711-3241、Email: info@muraihideki.com)



# 内閣官房副長官のウラ面

## 総理大臣杯を「自力授与」しました！

大相撲5月場所では、大の里関が、初土俵から所要7場所の史上最速で、初優勝しましたが、私は、総理の代理で、総理大臣杯を授与する機会を頂きました。その際、重さ40キロの総理大臣杯を、気合を入れて、持ち上げて授与したところ、その様子がネット上で話題となり、スポーツ紙でも以下のタイトルで記事になりました。そんな「怪力」ではないはずですが、土俵の上は、特別な力が出るようです。

【日刊スポーツ】「怪力すぎ」初V大の里に40キロ内閣総理大臣杯「自力授与」44歳官房副長官にSNSビックリ



## 緊急事態対応と「離京届け」

副長官は、緊急事態対応のため、平時から官邸近傍にすることが原則であり、東京23区を離れる際は、他の副長官と在京担当を調整の上、「離京届け」の提出が必要です。地元活動が以前より少なくなりがちですが、地元の皆様の思いを忘れることはありません。また、浦和に暮らす家族と離れ単身赴任となっていますが、可能な限り家族との時間を持つよう心掛けています。写真は、浦和レッズ戦観戦の際のもの。近所の皆さんと。



## 大好評！「村井ひでき国会見学」を開催します！

大変好評を頂いております、国会見学を今年も開催します。こども国会見学は、小学生の「夏の自由研究」にもご活用頂いているようです。ぜひ奮ってご参加ください。

開催内容の詳細及びお申込みは右記QRコードからご覧ください。



### 村井ひできこども国会見学 (小学生のお子様とご家族向け)

開催予定日：

7月24日(水) / 7月29日(月)  
7月30日(火) / 8月6日(火)

### 村井ひでき国会見学 (主に大人の方向け)

開催予定日：

8月1日(木) / 8月2日(金)  
8月19日(月) / 8月23日(金)

## 村井ひできミニプロフィール

昭和55年さいたま市生まれ。  
浦和区在住。44歳。  
家族：妻、長男(9歳)  
二男(7歳)三男(4歳)。  
浦和市立別所小学校卒業。

東京大学卒業後、財務省入省。  
ハーバード大学大学院修了。  
平成23年財務省退官(主税局参事官補佐)。  
平成24年12月初当選。現在4期。  
令和3年10月内閣総理大臣補佐官。  
令和5年9月内閣官房副長官(現職)。



LINE公式アカウントでも情報発信をしています。皆さんぜひ友だち登録をお願いします！